

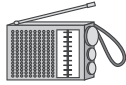
# 防災用具チェックリスト

※何を必要とするかは、家族状況やお住まいの地域によって異なります。日ごろからご家庭で話し合ひましょう。

## 非常持ち出し品

### 避難用具

- ヘルメット
- 懐中電灯
- 携帯ラジオ
- 乾電池(予備)



### 生活用品

- ティッシュペーパー
- タオル
- ビニール袋
- モバイルバッテリー
- ライター・マッチ
- 万能ナイフ
- 手袋(作業用)
- アルミブランケット
- 筆記用具  
(メモ帳、油性マジックなど)



### 携帯トイレ

- 生理用品

### 衛生用具

- マスク
- アルコール消毒液
- ハンドソープ・固形石けん
- 除菌シート
- 体温計
- 歯ブラシ



### 救急用品

- 救急セット  
(絆創膏、消毒液、包帯など)
- 常備薬・持病薬  
(合わせて処方箋のコピー)



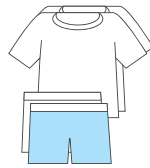
### 非常食品

- 飲料水
- 食料  
(レトルト食品、缶詰など)
- 携帯食  
(アメ、栄養補助食品など)



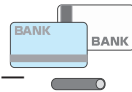
### 衣料品

- レインウェア
- 下着
- 靴下



### 貴重品

- 現金  
(公衆電話用の10円硬貨を含む)
- 印かん
- 通帳、健康保険証、身分証明書の各コピー



### 乳幼児がいる家族の備え

- 離乳食、粉ミルク、液体ミルク
- 加熱調理器具
- 紙おむつ
- おしりふき など

### 高齢者がいる家族の備え

- 入れ歯
- 介護食
- 大人用紙おむつ など

### ペットがいる家族の備え

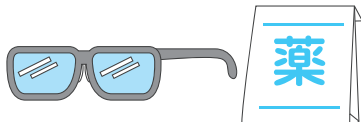
- 動物病院連絡先
- リード
- ケージ
- ペット用食品
- 排泄用品 など

地震などの広域災害の場合、救援物資がすぐ被災地に届くわけではありません。非常持ち出し品、3日以上(可能な限り1週間分程度)の食料、飲料水、携帯トイレなどを日ごろから準備しておきましょう。

## 備蓄品

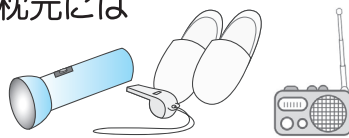
- 食料
- 飲料水(1人1日3リットル)
- 携帯トイレ(1人1日5回分程度)
- 生活用品 例え、トイレトペーパー、ラップ、ガスコンロ、ポリタンク、スリッパ…など

### 家族のためには



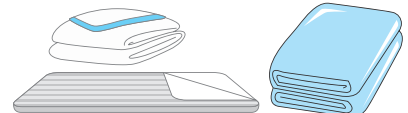
※メガネ、コンタクトレンズ、補聴器など、家族に応じた非常持ち出し品を考えましょう。  
※持病がある方は、持病の薬、処方箋や診察券のコピーを用意しておきましょう。

### 枕元には



※夜、地震が起きた場合に備えて用意しておきます。飛び散らないように袋に入れておきましょう。

### 車の中や倉庫等には



※バール・ジャッキ・テント・毛布・寝袋・ビニールシートなども車の中や取り出しやすい場所に用意。

安否の確認などの連絡に家族間や知人間などでご利用できます。

## NTT災害用伝言ダイヤル 171

ご利用にあたっての事前契約等は一切不要です。

### ■ 利用可能な端末

NTTの一般電話、公衆電話、携帯電話、PHS

### ■ 録音時間

1伝言 30秒以内

### ■ 蓄積伝言数

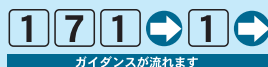
1電話番号あたり 1~20伝言

### ■ 伝言保存期間

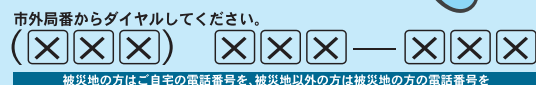
運用期間終了まで



### 伝言の録音方法



ガイダンスが流れます

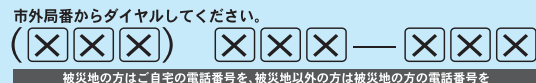


被災地の方はご自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を

### 伝言の再生方法



ガイダンスが流れます



被災地の方はご自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を

(携帯電話の災害用伝言板については、各社で同様のサービスを提供していますので、確認しておきましょう。)

### 緊急連絡先

常滑市役所	☎ 35-5111	常滑市民病院	☎ 35-3170
常滑市消防本部	☎ 35-0119	常滑警察署	☎ 35-0110

出典 愛知県防災・減災お役立ちガイド(地震編)※一部追記  
問合せ 防災危機管理課 ☎47-6107, FAX35-4567